

診療所長 今月の二句

平成二十八年七月

涼風や 夕立ならん 遠方で

うだるような日中の暑さのあと、夕刻になると、たまに、涼しい風が、北から吹いてきます。おそろく、山の方では、夕立が来ているのでしょう。水不足が、少しでも緩和されればと、思います。一服の清涼剤を得て、この句が浮かびました。

そうめんかぼちゃ

落ちぬかと 素麺南瓜の 実を案じ

我が家の近所のおばさま方の、「夏休みの自由研究」のようです。家庭菜園で、素麺南瓜を育てています。小生の女房も、やっています。フェンスに這わせているのですが、あつという間に、実がどんどん大きくなり、重さに耐えかねて、実が落ちないかと、いわば、他人事ですが、はらはらしてしまいます。